

DIC スタッフ おすすめシネマ



モリの いる場所



97歳まで現役の画家であり続けた熊谷守一の生活を、ユーモラスに描く、山崎努と樹木希林の初共演作品。
(上映時間 99 分)



※あらすじは裏面をご覧ください。



© 2017「モリのいる場所」製作委員会

2025 年
6月29日(日)

開演/午前10時30分
(開場は30分前)

場所：文化情報センターDIC21

費用：チケット700円

購入時に座席をご指定いただけます

定員：48人

※未就学児はご遠慮ください



お申込みは5月6日(振休・火)から
アクロスへ電話または来館



申込・問合せ 大東市立生涯学習センター **アクロス**

〒574-0036 大阪府大東市末広町 1-301 ローレルスクエア住道サンタワー内 ※JR住道駅南側高層マンション内

TEL：072-869-6505 FAX：072-870-1405 E-mail：info@daito-across.jp

HP：「大東 アクロス」で検索 開館時間：午前9時～午後10時 休館日：第2木曜日

お願い：文化情報センターには専用の駐輪スペースがありません。ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。



あらすじ

昭和 49 年の東京・池袋。守一が暮らす家の庭には草木が生い茂り、たくさんの虫や猫が住み着いていた。それら生き物たちは守一の描く絵のモデルであり、じっと庭の生命たちを眺めることが、30 年以上にわたる守一の日課であった。そして妻の秀子との 2 人で暮らす家には毎日のように来客が訪れる。

守一を撮影することに情熱を傾ける若い写真家、守一に看板を描いてもらいたい温泉旅館の主人、隣に暮らす佐伯さん夫婦、近所の人々、さらには得体の知れない男まで。老若男女が集う熊谷家の茶の間はその日も、いつものようににぎやかだった。

「モリのいる場所」概要



山崎努と樹木希林という、ともに日本映画界を代表するベテランが初共演を果たし、伝説の画家・熊谷守一夫妻を演じた人間ドラマ。30 年間もの間、ほとんど家の外へ出ることなく庭の生命を見つめ描き続けたという熊谷守一＝モリのエピソードをベースに、晩年のある 1 日を、「モヒカン故郷に帰る」「横道世之介」の沖田修一監督がフィクションとしてユーモラスに描いていく。

＊スタッフおすすめポイント＊

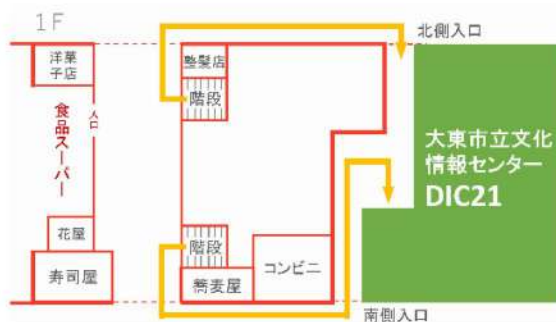
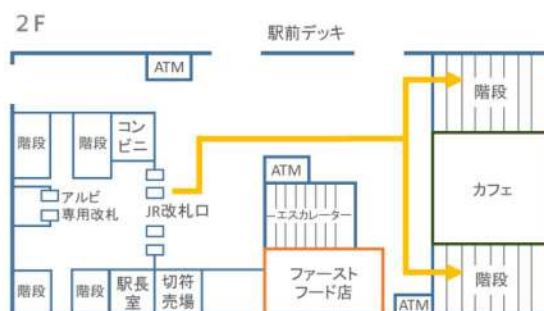
大爆笑も、飛び上がるほどの事件も起きたりしません、古き良き昭和の時代にタイムスリップしてみませんか。名優二人が演じる、どちらも一筋縄ではいかない夫婦の家に 1 日遊びに来たと思って、ただゆったりとした時間を体感しましょう！



★ご来場のお客様へ、お願いとご案内

当センターイベント参加時には感染症予防対策のため、以下を推奨しています。

- マスクの着用
 - 会場入場時の手指のアルコール消毒
 - ご自宅での検温等の体調確認
- (当日、発熱や風邪のような症状のある方につきましては、参加をお控えください。)



※会場は生涯学習センターアクロスではなく、文化情報センターDIC21 です。